



# 第 11 回都道府県対抗トランポリン競技選手権大会

## 実 施 要 項

- 主 催 公益財団法人日本体操協会 掛川市
- 主 管 都道府県対抗トランポリン競技選手権大会開催実行委員会
- 後 援 総務省 スポーツ庁 一般財団法人地域活性化センター  
静岡県 静岡県教育委員会 掛川市教育委員会 公益財団法人静岡県体育協会  
NPO法人掛川市体育協会 NHK静岡放送局 朝日新聞静岡総局  
静岡朝日テレビ 郷土新聞社 静岡新聞社・静岡放送 静岡第一テレビ  
中日新聞東海本社 テレビ静岡 毎日新聞浜松支局 読売新聞浜松支局
- 協 力 静岡県体操協会 掛川市トランポリン協会 掛川体協ツーリスト
- 期 日 2020年2月14日(金)～16日(日)
- 会 場 東遠カルチャーパーク総合体育館「さんりーな」  
静岡県掛川市大池2250 TEL 0537-22-5553
- 参加料 6,000円
- 競技日程 2月14日(金) 公式練習・審判本部会議・監督会議・開会式  
2月15日(土) 審判会議・予選  
2月16日(日) 決勝トーナメント・表彰式・閉会式
- 競技部門 1. 個人競技  
(13部門) 10歳以下の部 男・女  
11-12歳の部 男・女  
13-14歳の部 男・女  
15-16歳の部 男・女  
17歳以上の部 男・女  
オープンの部 男・女(上記年齢区分全体から上位8名を抽出・決勝のみ)

### 2. 都道府県対抗競技 総合(個人競技予選のポイントで決定)

#### ※決勝進出者について

- 各部門予選上位8名の選手により、トーナメントで優勝者を決定する
- オープン部門については都道府県および部門を問わず上位8名が進出する
- 年齢別部門については各都道府県男女とも1名とする

競技規則 公益財団法人日本体操協会制定「2017年トランポリン採点規則」に準じて行い、一部都道府県対抗トランポリン競技規程を適用する

使用器具 FIG 認定器具 ユーロトランポリン (4mm x 4mm テープベッド)  
FIG 公認 HDTS オールインワン測定システム (EUROTRAMP)

表彰	都道府県対抗競技 優勝	トロフィー
	個人競技 1 位	メダル (男・女)
	個人競技 2 位・3 位 (2 名)	メダル (男・女)
	※オープン部 3 位は 1 名のみ	
	文部科学大臣賞 (15-16 歳・17 歳以上の部優勝者)	賞状 (男・女)
	掛川市長賞(10 歳以下・11-12 歳・13-14 歳の部優勝者)	賞状 (男・女)
	最高演技点賞(予選時)	トロフィー (男・女)
	最高難度点賞(決勝トーナメント時)	トロフィー (男・女)

参加資格

- 2019 年度 公益財団法人 日本体操協会に選手登録を完了した者。  
また、申込時まで追加登録を完了した者
- 2020 年 12 月 31 日現在の年齢とする

帯同審判

- 本大会出場の所属団体は、以下の内容に従って公認審判員 1 種 (国際審判員を含む) の帯同をお願いします。本大会は **公認審判員 2 種も帯同可能** です。
  - 1~10 名の参加選手がいる団体: 1 名
  - 11 名以上の参加選手がいる団体: 2 名
- 帯同できない場合、運営本部において審判員を依頼しますので、選手 1 名につき 2,000 円の負担をお願いします
  - 11 名以上の団体で 1 名のみ帯同できる場合、10 名分の帯同審判料を免除します (例 選手 15 人 帯同 1 名の場合:  $15 - 10 = 5$  名 x 2,000 円 = 10,000 円)
  - 11 名以上で 2 名の審判を帯同する場合の帯同審判料は必要ありません
- 帯同審判は予選・決勝を含む大会期間 (2 日間) を通して従事できる方に限ります
- 帯同審判員は、2017 年以降本会主催・共催大会での審判実績の保有者もしくは、公認審判員講習会・研修会(国際体操連盟主催のものを含む)を受講した方のみとさせていただきます。
- 他の参加団体が帯同している審判員を帯同することはできません。依頼の際は十分確認をして下さい

- 申込方法
- 計算シートを作成後、<http://jga-web.jp> より申込をしてください。計算シートの結果を Web に記載いただきます
  - Web 申込は一旦送信が完了すると自身での変更が出来ないため、入力の際は指示に従って正しく入力し、漏れがないようにお願いします
  - Web システムでの入金ではなく、実行委員会の口座への振り込みになります

申込受付期間  
2020 年 1 月 7 (火) ～ 2020 年 1 月 19 日 (日)

振込期限

振込受付期間  
2020 年 1 月 7 (火) ～ 2020 年 1 月 20 日 (月)

参加費用振込の締切については、取扱日ではなく振込受付期間の最終日に確実に入金されている必要があります。

※期限までにお振込みがない場合は、参加申込が無効となります。

※振込金は「大会参加料」「帯同審判料」のみを一緒に振り込んでください。弁当・宿泊料は別紙に従って振込をしてください。

※期限以降の変更による大会参加費の返金はいたしません。

振込口座 ゆうちょ銀行 【店名】 二三八 (読み ニサンハチ) 【店番】 238  
【預金種目】 普通預金 【口座番号】 5196787  
【口座名義】 都道府県(トドウフケン)対抗(タイコウ)トランポリン(トランポリン)競技(キョウギ)選手権(センシュケン)大会(タイカイ)開催(カイサイ)実行(ジッコウ)委員会(イインカイ)  
※振込者名は、個人名ではなく所属団体名にてお振り込みください。また、所属団体名が長い場合は、認識できる範囲で短い所属団体名を使用して下さい。

撮影許可証 ビデオ撮影につきましては、各団体に最高3枚の撮影許可証を発行します。また、決勝の選手紹介、表彰式はスチールカメラでの撮影を許可しますが、撮影許可証を身に付けて行ってください。  
※大会当日の撮影許可証の発行はしませんのでご注意ください。

## AD 申請

- 発行された AD カードは、会場内では必ず見える位置に着用して下さい
- AD を重複して申請しないでください。申請した場合は、どちらも発行しませんのでご注意ください (例: コーチとスポッターなど)

役 職	枚 数	備 考
監督 コーチ	1	男女選手がいる場合はコーチ資格を有する 2 名に対して発行します。演技グループ毎に競技エリア内に入ることができます
選 手	選手数	出場選手数を発行します
スポッター	2	男女選手がいる場合は最高 4 枚発行します。選手の演技グループ毎に競技エリア内に入ることができます
トレーナー	1	男女選手がいる場合は 2 枚発行します。競技中は競技エリア外で待機し、治療などを要する場合は競技エリア内に入ることができます

- 選手の安全を守るという観点から、ダブルスポッター制を義務化いたしました。スポッターが用意できない所属団体については、予め他の所属団体の監督・コーチもしくは適切な方に依頼してください。それでも、スポッターの用意が出来ない場合は、受付時に「ダブルスポッター要員 要請申請書」に必要事項をご記入のうえ提出ください。
- コーチ資格 (公益財団法人日本体操協会トランポリン公認コーチ、もしくは日本スポーツ協会 公認コーチ資格) をお持ちでない監督・コーチについては AD を発行しない場合がありますので、再度ご自身の資格をご確認ください。申込み時に「監督・コーチ名+個人登録番号」を記載してください。

## 大会保険および大会期間中の怪我について

- 実行委員会の費用負担にて、参加選手に対して練習日午前 9 時以降、競技終了までスポーツ傷害保険をかけます
- 発生した傷害の補償についてはスポーツ傷害保険の範囲とします。
- 競技中の疾病、負傷に対する応急処置は主催者側で行いますが、その他の責任は負いません
- 疾病、負傷が発生した場合、必ず救護係に「救護の記録」を記載してもらうようにしてください。大会終了後に通院する場合に必要になります。記録が無い場合は、大会後の通院に関しては、保険の適用外となります。
- 大会参加者は健康保険証を持参して下さい

演技写真撮影について 本大会は記録のため写真および映像を撮影します。協会が定める競技者規定第 8 条に従い、各選手の肖像利用に関しては大会参加申込みにより了解を得たものとします。また、出場選手の記録のため、写真販売業者が撮影した画像を出場選手とその関係者に限定して販売を行います。業者は決定後参加者に連絡いたします。また、大会期間中、総務委員会へこの事業への不参加を申し出て、関係者を含め、一切の自身の演技写真掲載や利用を禁止することができます

- その他
- 参加選手には傷害保険を付保しますが、主催者側では応急処置以外の責任は負いかねます。無理のない演技構成で安全に留意して下さい
  - 競技カードは日本体操協会のホームページよりダウンロードし、受付時に提出して下さい
  - 棄権者がいる場合は、前もって棄権届けに記入・捺印の上、少なくとも監督会議の 30 分前までに受付に提出してください。
  - 大会期間中における円滑な駐車場整理のため、駐車場を使用するバスの台数を確認させていただきます。参加申込書にバス使用の有無を記入して下さい。

お問合せ メールでのみ受け付けます

※ お返事までに数日いただくことがありますので、その旨ご了承ください

※ 携帯のメールアドレスからお問合せの場合、以下のアドレスからメールを受け取れるよう設定して下さい

参加申込および競技関係

公益財団法人 日本体操協会 TRA 事業委員会  
[jigyotrampoline@gmail.com](mailto:jigyotrampoline@gmail.com)

競技関係以外

実行委員会

[k-takuki@city.kakegawa.shizuoka.jp](mailto:k-takuki@city.kakegawa.shizuoka.jp)

# 都道府県対抗について

## 1. 参加都道府県の選択について

都道府県対抗戦に参加するには、本籍地、または所属団体が所在する都道府県のどちらに参加するかを申し込み時点で選択します。特に、本籍地で参加する場合、虚偽の申請があった場合には、すべての記録を取り消しますので、参加選手の情報を十分にご確認ください。

石川県の場合は予選会を実施していますので下記をご覧ください。

### 【本籍地、団体所在地が石川県の場合】

- 石川県の予選会で選考された選手以外は石川県での出場はできません。
- 石川県の団体の選手で本籍地が石川県以外の選手は本籍地で出場できます。
- 他県の選手で、石川県予選会で選考された選手以外は石川県として出場することはできません。

### 【本籍地または団体所在地が石川県以外の場合】

- 登録されている本籍地、所属団体の所在地のいずれかを選択して参加することができます。
- 上記、参加申込みはすべて所属する団体（クラブ）が行います。
- 帯同審判を出す場合は、代表する所属団体に記入し、重複しての記入はしないでください。

- 参加について疑問等がある場合は、下記までメールにてお問い合わせください。お電話でのお問い合わせは受け付けておりません。

問い合わせ先  
公益財団法人 日本体操協会 TRA 事業委員会  
jigyotrampoline@gmail.com

# 都道府県対抗トランポリン競技 競技規程

## 【競技部門】

### 1. 個人競技（予選）・都道府県対抗部門

個人競技は下記、小学生以上の10部門で構成される。

- 10歳以下の部 男・女
- 11・12歳の部 男・女
- 13・14歳の部 男・女
- 15・16歳の部 男・女
- 17歳以上の部 男・女

\*年齢区分は全ての部門において大会開催年度の12月31日現在の年齢とする。

#### 都道府県対抗競技

予選の成績によりポイント換算される

① 各都道府県の獲得ポイント（現在の国体のポイント計算に準じて作成）

##### ■各年齢区分の入賞ポイント

1位－8点、2位－7点、3位－6点、4位－5点、5位－4点、6位－3点

7位－2点、8位－1点

年齢区分内で同一都道府県が獲得できるのは2名までとし、順次繰り上げとする。

##### ■参加点

年齢区分内関係なく参加している人数が何人であっても都道府県ポイントは10点とする。

年齢区分	男子 ポイント	男子 参加点	男子 合計	女子 ポイント	女子 参加点	女子 合計	総合計
10以下							
11-12							
13-14							
15-16							
17以上							

発表は、男子順位、女子順位、総合順位とする。

### 2. 年齢別部門トーナメント・オープン部門トーナメント（決勝）

#### ※決勝進出者について

1. オープン部門については都道府県を問わず、上位8名とする。
2. 年齢別部門はオープン部門に出場する選手を除き上位8名の選手とする。（各都道府県からの出場者は1名とする）

## 【競技方法】

### 1. 個人競技予選（都道府県対抗競技）

- ① 年齢別競技部門毎に最大16名のグループに分けて10種目の自由演技を1回行い、上位8名の予選通過者を選ぶ。（各部門とも参加者が8名以下であっても予選を行う。）
  - ② 公益財団法人日本体操協会競技規則に従い、主審1名、演技審判員6名、難度審判員2名で採点にあたる。
  - ③ 得点は、演技点+難度点+跳躍時間点+移動得点-ペナルティーを合計得点とする。
  - ④ 合計得点と同点の場合は、有効演技得点の高い選手が上位となる。有効演技点も同点の場合は移動得点の高い選手、それでも同点の場合は跳躍時間得点の高い選手が上位となる
  - ⑤ 要求種目について、演技終了時に前方もしくは後方3/4宙返り以上の種目が1種目以上構成に入っていなければならない。この条件で演技を終了しない場合は、難度点が0点となり、演技点のみが得点となる。
- \*「膝落ち」、「よつんばい落ち」は種目として認めない。この種目を行った時点で中断とする。

### 2. 個人競技決勝

#### （1）年齢別部門・オープン部門決勝トーナメントについて

- ① 各部門、8名の予選通過者によって決勝トーナメントを行い優勝者を決める。  
組み合わせは、予選得点の順位から下記に示す通りとする。  
男・女ともAブロック・Bブロックに4名ずつに分ける。
  - ・Aブロック（4名）6－3・7－2
  - ・Bブロック（4名）5－4・1－8※数字は、予選順位を示す。  
トーナメント組み合わせ1回戦の試技順は下記のとおりとする。  
第1回戦（下位の選手が先攻）→ 5－4、6－3、7－2、8－1
- ② 主審1名、演技審判員6名、難度審判員2名で採点にあたる。
- ③ 先攻、後攻の演技者を演技点+難度点+跳躍時間点+移動得点-ペナルティーで採点し、得点の高い方を勝者として次の対戦へ進ませる。
- ④ 合計得点と同点の場合は、有効演技得点の高い選手を勝者とする。有効演技点も同点の場合は移動得点の高い選手、それでも同点の場合は跳躍時間得点の高い選手を勝者とする。
- ⑤ 主審は、競技の進行および試技に関わる全体を司る。

### 3. 各種表彰について

#### (1) 都道府県対抗競技

総合優勝の都道府県に賞状を授与する。

#### (2) トーナメント競技部門

##### ① 最高演技点賞について

**最高演技点賞**は、男・女とも個人競技予選の有効演技得点が対象となる。

同点の場合は、難度点の高い選手を受賞者とする。

難度点も同点の場合は、受賞者が決定するまで次の内容で比較する。

- ・ 移動点の高い選手
- ・ 演技審判員全員（4名分）の合計得点の高い選手  
該当者には、トロフィーを授与する。

##### ② 最高難度点賞について

**最高難度点賞**は、男・女とも決勝トーナメント時の難度点が対象となる。

同点の場合は、次の基準で決定する。

- ・ 決勝トーナメント全対戦の合計難度点で決定する。  
それでも同点の場合は、同じ賞を与える。  
該当者には、トロフィーを授与する。

#### 4. その他の規程については、公益財団法人日本体操協会競技規則による。

1995年	1月	1日	改訂版
1996年	3月	24日	一部改訂
2001年	3月	20日	一部改訂
2002年	5月	3日	一部改訂
2003年	3月	2日	一部改訂
2005年	4月	1日	一部改訂
2008年	2月	24日	一部改訂
2009年	2月	1日	一部改訂
2009年	12月	25日	一部改訂
2011年	11月	30日	一部改訂
2012年	11月	5日	一部改訂
2014年	12月	25日	一部改訂
2016年	12月	22日	一部改訂
2017年	12月	22日	一部改訂
2018年	2月	1日	一部改訂
2019年	3月	8日	一部改訂